

機器利用技術講習会のご案内

【表面粗さ・輪郭測定機、超精密非球面測定機】

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技术・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成26年 11月12日（水） 14：15～16：15

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1）

当日は、講習開始時刻までに当研究所の玄関ホール講習会受付にて、受付をお済ませください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：5名

※ 受講票は発行しません。返信で受付をお知らせします。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は、申し込み方法をご連絡いたします。

◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。

メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：表面粗さ・輪郭測定機、超精密非球面測定機

・表面粗さ・輪郭測定機

機械加工された表面の凸凹は、製品の品質や機能に大きな影響を与えます。ものの表面の様子を調べる時には、「ツルツルしている」、「ザラザラしている」などの表現をします。一方、表面の全体的な姿・形を表す時は、「凹んでいる」、「うねっている」などの表現をします。

本装置は表面の様子を測定する「表面粗さ測定」機能と、ものの表面の全体的な姿・形を測定する「輪郭形状測定」の二つの機能を持っており、検出器を交換することなく、寸法公差（半径、角度、段差、ピッチなど）と表面粗さの測定が可能です。

・超精密非球面測定機

近年の光学機器や情報関連機器の高機能化に伴い、それらに内蔵される光学部品（レンズ、ミラー等）には高度な非球面形状が求められています。非球面光学部品やその金型を高精度に製作するには、高精度な加工機に加えて高精度な形状測定機が不可欠です。本装置は非球面専用の形状測定機であり、原子間力プローブと呼ばれる独自の測定子を備え、また測定物の設置誤差を計算処理によって解消するオートアライメント機能を有しています。これらの機能により、急な傾斜をもつ非球面形状であっても、高精度かつ短時間で測定を行うことができます。

本講習会では、上記装置の測定原理ならびに操作方法を解説します。

◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所

加工成形科 主任研究員 足立 和俊、本田 索郎

・お問い合わせ先：顧客サービス課（TEL：0725-51-2518）

